

## 第三者意見



埼玉大学大学院  
経済科学研究科客員教授  
藤井 敏彦氏

今年のTDK CSR報告書において特に評価したい点を3点挙げたい。まず、紛争鉱物問題を正面から見据えたことである。単に規制の遵守という観点にとどまらず、コンゴ民主共和国の人権状況について、NGOとの議論も含め、TDKの認識を示した上で、紛争鉱物に関するポリシーを策定したことを特に評価したい。グローバルビジネスが世界各地の人権問題にいかなる責任を負うのか、その最先端の部分をよく伝えている。多くの読者に読んでもらいたい。

次に、電子部品の環境貢献量の国際規格づくりに向けた努力である。もしかしたら一部の読者には地味な取り組みと映るかもしれないが、しかし、環境の持続可能性向上の観点から大変注目すべきものである。電子部品は製造段階で環境負荷をかけるが、同時にその機能を発揮することで環境負荷を低下する。したがって、持続的成長を目指すためにはその双方を勘案し真の環境貢献量を計測しなければならない。環境貢献量に関するグローバルなルールを策定は、新しい技術に正当な環境評価が与えられることを通じてイノベーションを促進する。これはもちろんTDKの研究開発への後押しになるであろうが、そのみならず、広く地球規模の持続的成長実現に貢献する。ルールとは貴重な公共財なのであり、ルールメークにイニシアティブをとることは重要な社会貢献である。

3番目に取り上げたいのが、レアアースを使わない永久磁石の研究開発である。CSRは事業に統合されなければならない。それは研究開発についてでもそうである。レアアースが産地において深刻な環境破壊をもたらしていることはよく知られている。また、安定供給が地政学的な理由から必ずしも容易でない。このような環境・社会上の課題に応える研究開発としてその進展に大いに期待したいのである。

また、長崎の火災事故とリコール中の加湿器に関するお詫びと報告を掲載したことはTDKの真摯な反省と解決に向けた誠意を示すものである。

さて、次に今後一層の努力を傾注すべき点について触れたい。まずダイバーシティの推進である。多様な人材に活躍の機会を均等に保証することは社会的要請であり、かつ企業の長期的競争力にとっても必須のことである。具体的な取り組みを加速させるためにもダイバーシティに関し一定の目標を設定し、進捗状況を公表することを提案したい。

次にCSR調達である。CSRチェックシート回答率はグローバルで85%となっている。取り組みは前進しているが、今後実地監査を通じたサプライヤーとの直接の対話が次の課題となるだろう。先に紛争鉱物問題への取り組みを評価したが、紛争鉱物も含めCSR調達全般について監査を含めた体系的な実行の段階に移行することを期待したい。

最後に、ステークホルダーとの対話について述べたい。国際的人権NGOであるアムネスティ・インターナショナルとの対話は、きわめて貴重な視点をTDKグループに与えたに違いない。今後もグローバルなNGOとの対話を積極的に進めてもらいたい。TDKグループのCSRを真にグローバルなCSRとする道筋を指し示してくれるだろう。

# CSR活動 WEB掲載情報

2012年度の活動報告を中心に網羅的な情報を掲載。  
詳細なデータも掲載しています(2013年7月公開予定)。

<http://www.tdk.co.jp/csr/index.htm>



※CSR活動WEBサイト(画面は昨年度のイメージです)

### CSRに対する考え方

- トップコミットメント
- TDKグループのCSR
- 2012年度の主な活動実績と、2013年度行動計画
- コーポレート・ガバナンス
- コンプライアンス・リスクマネジメント

### 社会に対する責任

- お客様との関わり
- 調達取引先との関わり
- 従業員との関わり(雇用と人材育成)
- 従業員との関わり(安全衛生)
- 株主・投資家との関わり
- 地域社会との関わり
- スポンサー活動

### 環境に対する責任

- 環境方針・環境ビジョン
- 環境目標と実績
- カーボンニュートラルの達成
- 環境負荷の低減
- 環境マネジメントシステム
- 環境リスク管理

### 社会からの評価

- 第三者意見
- 2012年度の表彰実績
- 投資家からの社会的評価

### CSRハイライト

- 技術による世界への貢献
- 人材の育成
- サプライチェーンにおける社会・環境配慮
- 地球環境との共生

### CSR関連データ

- TDKの環境活動の経緯
- ISO14001/OHSAS18001認証取得事業所
- 環境パフォーマンスデータ
- 環境コスト
- サイト環境パフォーマンスデータ

## 2012年度の表彰実績

<http://www.tdk.co.jp/csr/recognition/>

「トムソン・ロイターTop 100  
グローバル・イノベーター2012」  
を受賞



日本政策投資銀行による  
環境格付で、  
2回連続「特別表彰」を受賞



“超”モノづくり部品大賞で、  
「IC内蔵基板 SESUB」が、  
「電気・電子部品賞」を受賞

